

総合消防訓練を行いました



2015年11月18日、柏崎刈羽原子力発電所において、柏崎市消防署と発電所との合同による総合消防訓練を行いました。

本訓練は、発電所の建屋内（放射線管理区域）での火災や負傷者発生に備えた初期対応の強化・充実を目的に、2001年より毎年実施しています。

今回の総合消防訓練では、約100名（消防署：約30名、当社：約70名）が参加し、4号機のタービン建屋で火災が発生したことを想定した消火活動、現場指揮本部の設置、負傷者の救助活動などの訓練を行い、柏崎市消防署との連携を確認しました。

当発電所では、今後も緊急時に備えた対応力の向上を目指して、様々な訓練に取り組んでまいります。



柏崎市消防署の車両が発電所に到着



現場指揮本部設置などの活動を開始



負傷者の救助活動



建屋内(放射線管理区域)に入るために放射線防護服を装着